

高病原性鳥インフルエンザ（4例目）の発生に係る埋却溝掘削作業の開始について

三豊市の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザ（4例目）の発生に係る埋却溝掘削作業を開始したのでお知らせします。

1 埋却溝掘削作業の開始について

埋却溝掘削開始 令和4年12月12日(月) 8時15分～
※埋却溝掘削、搬入、埋却の順で作業を行います。

<埋却溝の概要>

場所：三豊市
規模：幅 約8m、奥行 約30m、深さ 約4m（約720m³）

<処理予定量>

約180トン

2 今後の予定

12月12日(月)午後から殺処分した鶏の搬入、埋却を行うこととしています。

3 その他

- (1) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (2) 殺処分した鶏の保管、輸送、埋却に関する安全対策には万全を期して対応しております。
- (3) また、日本では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- (4) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

※本日11時頃、埋却溝掘削作業の写真及び動画データを送付します。